

平成16年4月30日

従業員各位

株式会社 徳・株式会社 傳六
株式会社 傳七・有限会社 和公
代表取締役 鷺岡和徳

前略

今月も業務に専心いただきお疲れ様でした。

今月給与の改正をさせていただきました。昨年の秋から取り組み、頑張ったものが報われる給与体系となりました。今回大きく昇給した方、あまり上がらなかった方、逆に減給となった方、さまざまだと思います。現在の皆様の働きを明確に賃金換算したときの金額と考えていただければわかりやすいと思います。皆様の仕事への取り組む熱意とその役職・ポジションでの会社が求める仕事の達成度をそれぞれの直属の上司（役職者）とヒヤリングを重ね査定させていただきました。今までは昇格がなければ年間数千円の昇給しかありませんでしたが今回は数万円の昇給者も多く出ています。この人事考課をベースに賞与も影響させていきます。

前にも申し上げましたが今回は私が高い評価をする人について説明します。

私が人を見るときに人財として重要であると考え要素は次の3つに分けられます。

- ① 物事に向かう姿勢や態度である【スタンス】(仕事に対するスタンスです)
- ② もって生まれた能力や適正である【資質】
- ③ 資質が訓練や経験、日々の業務の中で磨かれて上達する【スキル】

この中で私は【スタンス】を最も重視します。

対内外で高い評価を得ることが出来る【スタンス】とは具体的に「自立心」「責任感」「向上心」の3つに分けられます。「自立心」とは人に依存しないで生きていこうという姿勢であり、物事に流されず、他人を支えることが出来る能力を指します。

「責任感」はたとえば「あなたは責任感があると思いますか？」と問われればほとんどの皆さんは「ある」と答えると思います。しかし私が求める責任感は100%責任感を持っているかどうかを基準にします。10のうち9までは責任を持って仕事をするが1はいい加減であると言う人間は責任感があるとはいえないと考えます。

「向上心」は目標を持っているか、持っているならばその目標の高さを指します。高い目標を持っているかどうかは仕事をする上で重要です。なぜなら人は高い目標を持たなければ努力をしないからです。「自分は普通の人間だから普通のことしか出来ない」「普通の暮らして十分である」という考えと「私は絶対に何か大きなことをやらかす人間である」と誇大妄想的に高い目標を掲げる人とは結果は天と地ほど変わってきます。これは挨拶ひとつ取ってみても判断が出来ます。

人材と言う考え方の中で「スタンス」が最も大切であることをまず理解ください。

そのような人材により近づけるよう私も含め全社的に各個人が努力できることを切に望みます。

「私たちははお客様のために常に新しいことに挑戦し、食生活に新たな価値を創造しつづけます。」来月も一緒に頑張りましょう。

草々

